

<あづみ証言 1.>

石岡が「井上文学館来訪の報告会」と記されているが、誤り(239 頁 8 行目も同じ)。正しくは藤田が「先生と、社長・赤嶺先生がお元気なうちに、一度岩稜会の集まりをやっておきたい」と申し出られ、石岡は快諾。3 月 5 日 10 時に中澤・藤田が来宅「遠い方々は来るのも大変なので、東海地方の方々にだけお声をかけて集まりましょう」と言うことになり、4 月 1 日まるは寿司で会を開くことにした。案内状は藤田が作成し配布。石岡共々報告会とは思っていなかったし、当日もそのことについての話はなかった

蛇足だが、3 月 9 日に石原が突然来訪。その後、石岡は胸の痛みを訴え救急車で名古屋第一日赤に入院し、その間「岩稜会の集まりがあるから、早く良くなるよう」に励ました。石岡は「岩稜会の総会だ」と言ってとても楽しみにしていた。3 月 31 日に辛うじて退院し、翌 4 月 1 日岩稜会集まり。

石岡の病状について…心不全・大動脈瘤・胃癌(死亡後確認)・アルツハイマーなど。2005 年 12 月の入院から急速に弱っていた。アルツハイマーについては、3 年ほど前から発症。人との会話に耐えられないことがしばしばあった。